

防災特集

—防災ヘリポートとライフジャケット—

愛知県が行用地区に 防災ヘリポート整備

一色町開正地区（一色高校北側）に着々と建設が進んでいる「防災ヘリポート（命山）」をご存じですか？



広さは約2万2千㎡、高さ約4層の高台を作り、ヘリポートと防災拠点を作ります。南海トラフ地震等による津波や、堤防の損傷による浸水が発生した場合、ヘリコプターやボートによる救出・救助活動として活用されます。

開正地区防災会では、10年以上前から命山の建設を模索し、山田県議他の関係者の尽力により、愛知県が整備拠点と決定しました。災害時には、津波浸水区域内の孤立者をヘリコプターやボートで救出・

完成予想図



R4/3/16撮影時



救助し、このヘリポートに集約します。そこから、まとまった人数を大型ヘリコプターで内陸（津波浸水区域外）へ輸送するというわけです。津波避難タワーに続いて、住民にとっての安心材料が増えました。令和6年に共用開始の予定です。

一色中学校に ライフジャケット 750着配備

●市内の小中学校で唯一避難所に指定されていない一色中学校はこれまで防災教育に力を入れてきました。海辺に建つ学校であるため、水害への備えが重要と考え、生徒たちは5年前から募金活動により、ライフジャケット購入費を集めてきました。



昨年暮れ、集まった寄附金120万円と一色ライオンズクラブさんから300着のジャケットが購入できました。しかし、全校生徒に行き渡るにはあと450着足りません。6月初め、この事を知った市内の企業さん三社のご厚意で全てのジャケットが揃いました。7月1日には、一色中学校で「感謝の会」が開かれ、ジャケットを着用してプールで実演披露されました。小学校や地域で防災教育のお手伝い

を続けてきました。が、こうして生徒たちが自助の精神を具現化でき、とても嬉しいです。

九月議会のお知らせ

● 9月定例議会は、9月1日から開催されます。

● 一般質問は9月2日に登壇できるよう準備しています。

● 今回の議題は、買い物困難者について

● さらにゴミの分別促進について

● 学校図書館と公共図書館の連携について

ほんごう照代の ブログ更新中

